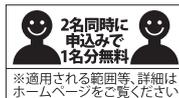


- ★ ダイ塗布は操作できる塗工条件に制約があり、それを越えると欠陥を生じます。
- ★ ダイコーティングにおける代表的な塗布欠陥を理解し、対策をできるようにしよう！



# ダイ塗布プロセスの欠陥メカニズム・課題と対策

～代表的な8種の塗布欠陥の発生メカニズムと対策・対応力を養う～



リビング・空気同伴・レベリング・段ムラ・風ムラ・ウィーピングとリブレット・スジ・ハジキ

日時	2020年7月13日(月) 13:00～16:30	会場	東京・品川区大井町 きゅりあん 5F 第3講習室
受講料	44,000円 ⇒S&T会員 41,800円 ※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。 (定価:本体40,000円+税4,000円 会員:本体38,000円+税3,800円)		資料付

**講師** 元・富士フイルム(株)フェロー 宮本 公明 氏  
**紹介** 【略歴】富士フイルム(株)足柄工場に入社配属 ミネソタ大学に留学(空気同伴現象の理論解析)  
 富士フイルム(株)生産技術部、アメリカ工場 駐在  
 富士フイルム(株)先端研究所 フェロー、上席化学工学技師 ※40年に渡り、塗布の基礎研究/開発研究と種々の材料の塗布の実務に従事

**趣旨** 近年ダイを用いた塗布は、塗工精度や繰り返し安定性に優れ、全量塗布できることなどからポピュラーになってきている。しかしながら、ダイ塗布では操作できる塗工条件に制約がありそれを越えると欠陥を生じる。このような塗布現象を理解するためには、粘度、表面張力、分子間力(濡れ性)といった塗布液物性の意味を理解すること、ダイから気液接触点までの簡単な流動モデルを理解することが必要である。また、基礎的な知見を実務上極めて重要な欠陥対策に活かすことにより、ダイ塗布のみならずロール塗布、ブレード塗布などにも共通する塗布欠陥を発生メカニズムに基づいて対応できるアプローチを提供する。

- プログラム**
- |  |   |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 塗布って何だろう ～定義に則した関連する塗布液物性</li> <li>2. 種々の塗布方式の歴史から見た塗布機の要素機能とダイ塗布の優位性<br/>～時代と共に機能が分化してダイ塗布にたどり着いた</li> <li>3. ダイ塗布の特徴は塗布量定量性<br/>～種々の塗布方式の比較とダイ塗布の基本</li> <li>4. 粘度の定義は剪断応力の比例定数だけではない!<br/>～粘度、非ニュートン性の塗布に現れる意味と測定方法</li> <li>5. 表面張力の定義は液面の張力だけではない!<br/>～表面張力やその動的値の意味と測定方法</li> <li>6. 分子間力が濡れ性を決める<br/>～分散力成分の測定と固液の接触角の推算</li> <li>7. 種々のダイ塗布方式は一つのファミリーだが・・・</li> <li>8. 種々のダイ塗布の限界塗布量を決めるメカニズムは異なる<br/>～スロット塗布、スライド塗布、カーテン塗布の最大、最小塗布膜厚</li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>9. ダイ塗布方式には3種類しか存在しないことが証明できる!</li> <li>10. 機能性材料では粒子の好ましい配向制御が必要!<br/>～塗布後の粒子の構造形成のメカニズム</li> <li>11. 親疎水パターンニングでは分子間力の差が問題<br/>～分子間力が液をはじくメカニズム</li> <li>12. 塗布欠陥の対策は、差別点による特徴付けから!</li> <li>13. 欠陥対策は主要原因を取り除くことだけではない!</li> <li>14. リビング ～ほとんど全ての塗布方式で発生する!～</li> <li>15. 空気同伴 ～全ての高速塗布での最大の問題～</li> <li>16. レベリング ～支持体の凹凸が解消できなければ!</li> <li>17. 段ムラ ～原因はさまざま!～</li> <li>18. 風ムラ ～要因効果に着目!～</li> <li>19. ウィーピングとリブレット</li> <li>20. スジ ～発生箇所もさまざま!～</li> <li>21. ハジキ ～分子間力の仕業ではあるが・・・</li> </ol> |
|--|---|

質疑応答・名刺交換

【テレワーク応援キャンペーン(1名受講)】【Live配信/WEBセミナー受講限定】1名申込みの場合:受講料(定価:35,200円/S&T会員 33,440円)お申し込み画面では、【会場受講】または【Live配信】のいずれかをご選択いただけます。詳細はホームページをご確認下さい。

■2名同時申込みで1名分無料■  
(1名あたり定価半額の22,000円)

※2名様ともS&T会員登録をしていただいた場合に限りです。 ※他の割引は併用できません。  
 ※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申込みのみ適用いたします。  
 ※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。  
 ※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。  
 ※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 B200763 (ダイ塗布)

会社名 団体名			
部署			
役職	〒		
ふりがな	住所		
氏名			
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。 ※□にチェックをご記入ください。  
 ※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

**今後のご案内**

E-mail希望・登録済み ) S&T会員価格を  
 郵送希望・登録済み ) 適用いたします。  
 希望しない ) (E-mailアドレス必須)

**お支払方法**

銀行振込 (振込予定日 月 日)  
 当日現金払い

**通信欄**

- 受講料について 「2名同時申込みで1名分無料」については上記の注意事項をお読みください。
- お申込みについて 申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
- お支払いについて 受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。振込手数料はお客様がご負担ください。

- 個人情報の取り扱いについて ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。詳しくはホームページをご覧ください。
- キャンセル規定 開催日から逆算(営業日:土日・祝祭日等を除く)いたしまして、  
 ・開催7日前以前のキャンセル: キャンセル料はいただきません。  
 ・開催3～6日前でのキャンセル: 受講料の70%  
 ・開催当日～2日前でのキャンセル・欠席: 受講料の100%  
 ※ご注意※ 参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

**S&T サイエンス & テクノロジー**  
 研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍  
 サイエンス&テクノロジー株式会社  
 TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187  
 〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F  
<http://www.science-t.com>